

元 気



令和3年3月5日(金)
東北文教大学附属幼稚園

「いのち」のお話をしました

年長さんに、小学校へ行っても、自分やお友達を大切にする心を伝えたいと思い、「いのちのお話」をしました。

始めに、小さな穴が開いたカードを渡し、養護教諭が、「この穴はね、お母さんのお腹の中にあった赤ちゃんの卵と同じ大きさだよ。みんなのいのちの始まりは、こんなに小さな卵だったんだよ。」と伝えると、「えー！ぼく、こんなに小さかったの？」と、驚いた様子の子ども達でした。

その後、紙芝居や人形劇で、「みんなは、お母さんのお腹の中にいた時から、家族に愛され、大切に育てられたんだよ。」というメッセージを伝えました。このお話の間、子ども達は、とても真剣な表情でお話を聞いていました。



このカードに空いた小さな穴は何？



ぼく達、こんなに小さかったんだね！



おへそは、お母さんのお腹の中で、お母さんと繋がっていたしるしなんだね。



自分のいのちを大切にしていこうね。



小学校へ行っても、お友達のこと大切にするよ！



赤ちゃん人形を抱っこしたよ。なんだか、そーっと、大切に抱っこしたくなるね。